



新時代そうま
只野敬三 議員
が問う！

中村城跡を国指定史跡に
向けて、取り組むべき!!

相馬の歴史・文化の継承と
将来へ向けての取り組みに
ついて

約700年と長期間に及ぶ統治を行った相馬氏の歴史は、世界史上の中でも大きな価値がある。また、中村城跡についても、町の中心部に位置しながら当時の土塁とお堀が数多く残っている。これが相馬の歴史の中での大きな価値と考えるが、市長の認識を伺う。

Q. 相馬の歴史・文化の価値について市長の認識を問う。

A. 相馬の歴史・文化の価値は、相馬中村藩が形成した質実剛健な気風にあると考えている。

る。これは、相馬氏の成立ちに起源するものであり、相馬野馬追や御仕法に受け継がれているものと認識している。

その気風が現在の市民の精神性の根底に根付いており、東日本大震災など、災害の際に市民が忍耐強く冷静に対応していたことにも表れていると考えている。

Q. 史跡中村城跡保存管理計画の進捗状況について問う。

A. 史跡中村城跡保存管理計画の短期計画に基づき、景観維持のための支障木伐採や、お堀の除草作業、お堀の水質浄化を図るために新たに西山地区に井戸を設置するなど、環境整備を実施してきた。

また、パンフレットの作成、現地案内板の改修により、来訪者への中村城跡の周知にも努めてきた。

平成29年度から、史跡中村城跡調査・保存・整備指導委員会の指導のもと、石垣復旧作業を最優先に実施しているが、同指導委員会から、石垣復旧に必要な追加調査を実施するよう指摘があり、現在、測量等を実施している。

その他、短期計画に挙げた、お堀のり面改修や西三の丸土塁修復については、指導委員会より現状保存が望ましい旨のご意見もあり、現状維持に努めているところである。

今後も、短期計画の進捗状況を検証し、中期計画の見直しを検討してまいりたいと考えている。

その他の質問

○ 出産に関する支援策について



無会派
村松恵美子 議員
が問う！

調整池の維持管理に対する
法整備の働きかけを!!

玉野地区に計画されている
大規模メガソーラー発電施設
について

玉野メガソーラー発電施設の計画が進んでいるが、大雨対策の調整池の維持管理について、事業終了後は事業者には責任はなく、地権者の責任となるとされている。このように法整備がなされていない状態での事業進捗について、市長の認識を伺う。

Q. 法整備が不完全な状態で設置が進むことについて市長の認識を問う。

A. 玉野地区に計画されている大規模太陽光発電施設について、環境影響評価と林地開発の

申請が事業者から福島県に提出された際に、県の担当部署から立地自治体として市に意見を求められ、意見書を提出しており、県においては、その意見を踏まえ、事務を進めるべきものと考えている。

また、全国市長会においては、エネルギー施策に関する重点提言として、大規模太陽光発電施設については、環境アセスメントの対象事業への追加又は森林法による規制の強化、都市計画法及び森林法に基づく開発行為の対象とするなど、関係法令を整備すること、施設の適正な管理を事業者が義務付けること等について、積極的な措置を講じるよう国に提言している。

なお、玉野地区に計画されている大規模太陽光発電施設を含め、太陽光発電事業は現在の制度では事業継続中の管理責任は事業者にあるが、事業終了後に土地が返還された後の管理については、事業者と地権者との間で特段の申し合わせがない限り、土地を返還された地権者がその責任を負うことから、市として関与することはできないものと認識している。

市としては、太陽光発電事業は全国的に行われており、同様の問題が将来的に各地で発生することも想定されることから、規制する法令の整備等について、全国市長会を通して、引き続き国に対し要望することを検討してまいりたいと考えている。

その他の質問

○ 国保税子どもの均等割をやめることについて

○ 新型コロナウイルス対策について

○ 生理用品の無償配布について



そうま市民の会
根岸利宗 議員
が問う！

安全・安心の為、公園周辺に
防犯カメラ設置を!!

中村城跡周辺整備について

中村城跡周辺は、市民憩いの空間であるが、地震で崩れた石垣がそのままであったり、せつかくの案内パンフレットがいたずらされる事案も発生している。早急な対策と更なる整備促進が必要と考え、質問する。

Q. 崩れた石垣の早期復旧を図るべきではないか。

A. 東日本大震災に起因した本丸石垣の崩落を確認し、その後、平成28年3月に史跡中村城跡保存管理計画を改訂した際に、平成28年度から令和2年度までの短期計画期間に、石垣復旧に取り組むことと

した。

その後、市は、本丸土地所有者より平成29年3月に石垣を含む縁辺部分、約9,651平方メートルに及ぶ土地の寄附を受け、採納したことから、順次、支障木伐採や石垣測量調査などを行ってきた。

市としては、史跡中村城跡調査・保存・整備指導委員会から石垣修復に係る追加調査などの指導を頂いたことから、その指導内容を踏まえ、史跡としての適切な整備に向け、鋭意計画を進めているところである。

Q. 公園の周辺に防犯カメラを設置すべきではないか。

A. 市は、馬陵公園を含めて、現在、16箇所の都市公園を管理しており、このうち、沖ノ内公園に2台、尾浜こども公園に9台の防犯カメラを設置している。

特に、沖ノ内公園については、過去に公園施設が損壊されるなどの悪質な犯罪事案が繰り返し発生したことから、平成28年度に市が設置したものである。

市としては、将来的には都市公園に防犯カメラを設置し、地域の安全・安心を高めていくことの必要性は認識しているが、特定の公園への防犯カメラの設置ということではなく、都市公園も含めた、地域全体の防犯対策の一環として、適切に検討し対応してまいりたいと考えている。

その他の質問

○ 新型コロナウイルス感染症対策について

